

令和5年度上半期(4～9月) 金光学園こども園 保育教諭自己評価集計表 及び 園として評価

常勤/非常勤の別	人数	A 保育の計画性																																															
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																				
		◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×																																				
常勤保育教諭	11人	8	1	1	1	3	7	0	1	2	7	2	0	1	6	4	0	1	7	3	0	3	8	0	0	3	6	2	0	2	8	1	0	3	7	1	0	6	4	1	0	1	6	3	1	1	5	4	1
非常勤保育教諭	14人	7	7	0	0	3	7	1	2	3	6	1	2	3	8	1	1	4	7	3	0	3	10	1	0	4	10	0	0	4	9	1	0	6	7	1	0	6	7	1	0	3	9	2	0	1	10	3	0
合計	25人	15	8	1	1	6	14	1	3	5	13	3	2	4	14	5	1	5	14	6	0	6	18	1	0	7	16	2	0	6	17	2	0	9	14	2	0	12	11	2	0	4	15	5	1	2	15	7	1
園としての評価	1は、全員が◎であるべきと考えるため、園の教育目標が記載されている「入園案内」冊子を配布し、改めて教職員に周知する。 2～9は7割以上の職員が◎及び○となっている。概ね達成できていると判断するが、△・×の職員への指導や声掛けを各主任から行う。 10～12は、PDCAサイクルについて、園長作成の資料をもとに改めて周知し、日々の保育に活かせるようにする。																																																

常勤/非常勤の別	人数	B 保育のあり方と子どもへの対応																																																																			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																																																			
		◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×																																																			
常勤保育教諭	11人	9	2	0	0	2	9	0	0	3	7	1	0	2	8	1	0	2	8	1	0	4	7	0	0	3	8	0	0	4	7	0	0	4	7	0	0	1	8	2	0	2	8	1	0	3	8	0	0	4	7	0	0	0	9	2	0	1	10	0	0	2	6	3	0	3	8	0	0
非常勤保育教諭	14人	6	7	0	0	2	11	1	0	3	9	2	0	3	10	1	0	5	9	0	0	2	12	0	0	7	7	0	0	4	10	0	0	4	10	0	0	1	11	2	0	3	10	1	0	6	8	0	0	6	8	0	0	2	10	2	0	2	8	4	0	2	10	2	0	3	11	0	0
合計	25人	15	9	0	0	4	20	1	0	6	16	3	0	5	18	2	0	7	17	1	0	6	19	0	0	10	15	0	0	8	17	0	0	8	17	0	0	2	19	4	0	5	18	2	0	9	16	0	0	10	15	0	0	2	19	4	0	3	18	4	0	4	16	5	0	6	19	0	0
園としての評価	1～2、6～9、12～13及び17は、全員が○以上なので今後も維持していく。 3～5、10～11及び15～16については、△をつけた職員に対し指導していく。 14は、今後も毎年「不適切保育」の研修を継続していく。																																																																				

常勤/非常勤の別	人数	C 保育者としての資質・能力や良識・適正																																																																																							
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22																																																																		
		◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×																																																																	
常勤保育教諭	11人	5	5	1	0	6	4	1	0	0	6	5	0	3	3	5	0	1	9	1	0	3	7	1	0	5	6	0	0	6	5	0	0	6	4	1	0	8	3	0	0	7	4	0	0	1	5	5	0	3	2	6	0	5	3	3	0	9	2	0	0	4	5	2	0	2	9	0	0	7	4	0	0	9	2	0	0	9	2	0	0	3	8	0	0	2	7	2	0
非常勤保育教諭	14人	7	6	1	0	6	7	1	0	0	7	7	0	3	10	1	0	1	10	3	0	1	12	1	0	6	8	0	0	7	7	0	0	1	13	0	0	10	4	0	0	10	4	0	0	3	9	2	0	2	10	2	0	10	4	0	0	7	7	0	0	6	8	0	0	7	7	0	0	11	3	0	0	10	4	0	0	4	10	0	0	5	6	3	0				
合計	25人	12	11	2	0	12	11	2	0	0	13	12	0	6	13	6	0	2	19	4	0	4	19	2	0	11	14	0	0	13	12	0	0	7	17	1	0	18	7	0	0	17	8	0	0	4	14	7	0	5	12	8	0	15	7	3	0	16	9	0	0	11	12	2	0	8	17	0	0	14	11	0	0	20	5	0	0	19	6	0	0	7	18	0	0	7	13	5	0
園としての評価	1の△の2名については、業務に対するモチベーションが低下しないように、園長及び主任が見守り、声掛けを行う。 2及び6は、Bの14と同様に「不適切保育」の研修を継続することで意識向上を図る。 3の研修は、引き続き、岡山県私立幼稚園連盟や浅口市主催の研修を積極的に受講できるように職員配置を行う。 4～5については、△の職員に指導していく。特に新任職員については、主任や他の教職員からの助言を継続し指導する。 9は、園として過剰と思える場合は個人的に指導をしている。今後も継続して行う。 1、10及び12は、全員が◎と評価することを目指すため、園長及び主任が手本となるよう園長及び主任のさらなる意識改革を促す。 13～14及び16は、園長及び主任が個人的に指導する。 22は、新聞や雑誌、ネットの情報等を職員間で閲覧し、職員が情報を得やすいようにする。																																																																																								

常勤/非常勤の別	人数	D 保護者への対応								E 地域社会との関わり																																											
		1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5																																							
		◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×																																							
常勤保育教諭	11人	9	2	0	0	5	6	0	0	7	4	0	0	10	0	1	0	1	9	1	0	9	2	0	0	8	3	0	0	6	5	0	0	9	2	0	0	6	5	0	0	2	6	2	1	4	3	3	1	1	9	1	0
非常勤保育教諭	14人	3	9	2	0	1	12	1	0	6	8	0	0	9	5	0	0	0	12	2	0	5	9	0	0	8	6	0	0	8	6	0	0	7	7	0	0	5	9	0	0	1	10	3	0	1	11	1	1	2	11	0	1
合計	25人	12	11	2	0	6	18	1	0	13	12	0	0	19	5	1	0	1	21	3	0	14	11	0	0	16	9	0	0	14	11	0	0	16	9	0	0	11	14	0	0	3	16	5	1	5	14	4	2	3	20	1	1
園としての評価【D】	1～2については、職員間での声掛けを心がけることで共通認識を図り、職員のさらなる意識改革を促す。 3、6～8は、全員が○以上なので今後も継続していく。 4は、主任及び他の教職員が個人的に指導する。 5は、今後は「教育的ねらい」を明確にした上で回答及び実行ができるように指導する。																																																				
園としての評価【E】	1～2は、全員が○以上なので今後も継続していく。 3は、園の子育て支援事業内容が記載されている「入園案内」冊子を配布し、改めて教職員に周知する。 4は、保護者を対象に運動会及び発表会の事後アンケートを集計し、保護者の意見等を公表し、以後の計画に役立てる。 5については、職員間での声掛けを心がけることで共通認識を図り、職員のさらなる意識改革を促す。																																																				

常勤/非常勤の別	人数	F 自己研鑽							G その他																																								
		1	2	3	4	5	6	7	1	2	3																																						
		◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	◎○△×	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	無し																											
常勤保育教諭	11人	4	6	1	0	1	2	8	0	5	6	0	0	1	2	7	1	1	7	3	0	5	6	0	0	5	5	1	0	2	4	3	2	3	5	3	0	1	0	0	1	0	3	0	2	0	3	0	0
非常勤保育教諭	14人	3	10	0	1	0	3	8	3	3	11	0	0	1	6	7	0	2	10	2	0	4	7	3	0	4	9	1	0	7	7	0	0	9	5	0	0	1	1	2	2	0	0	0	0	2	3	3	
合計	25人	7	16	1	1	1	5	16	3	8	17	0	0	2	8	14	1	3	17	5	0	9	13	3	0	9	14	2	0	9	11	3	2	12	10	3	0	2	1	2	3	0	3	0	2	0	5	3	3
園としての評価【F】	1は、研修会や日頃の会議で、誰もが発言しやすい雰囲気を作ったり、進行の仕方を工夫する。 2は、個人的には購入はしていないものの園の蔵書や図書館等を利用している。 3は、今後も継続していく。 4～5は、「年間保育教育計画」を作成する際に、必ず各学年で検討し実施できるよう園長及び主任が指導する。 6～7の10の姿は、資料を配布し周知する。※全日本私立幼稚園連合会・全日本私立幼稚園PTA連合会・全日本私立幼稚園幼児教育研究機構発刊冊子「未来を生きる子どもたちのために -幼児教育をもっと豊かに-」から抜粋																																																
園としての評価【G】	1の×の教職員を対象に、園長面談を行う。 2の△の職員を対象に、必要に応じて園長面談を行う。 3の「書類が多い」は、各種作成書類の簡略化できる部分があるかを検討する。家庭との両立が負担になっている教職員については、時期を考慮し、園長面談を行う。																																																

園としての評価【G】	1の×の教職員を対象に、園長面談を行う。 2の△の職員を対象に、必要に応じて園長面談を行う。 3の「書類が多い」は、各種作成書類の簡略化できる部分があるかを検討する。家庭との両立が負担になっている教職員については、時期を考慮し、園長面談を行う。																								
下半期に向けての改善	平成28年に幼稚園から幼保連携型認定こども園に移行し、以来、自己評価の内容を検討変更しつつ実施してきたが、この度の自己評価の集計により、設問が常勤職員と非常勤職員で業務内容が違うことを考慮する必要があるなど、完全の余地があることを認識した。今年度下半期の自己評価以降、更に内容を吟味し判断基準を明確で答えやすい設問にする修正する。																								

●自己評価 項目

A 保育の計画性		D 保護者への対応	
1	園の教育目標を言える。	1	個々の子どもの様子で気になる事は、直接話をしたり、連絡帳や電話等で伝えている。
2	園の教育目標と保育教育課程等を理解し、教育・保育の計画を立てている。	2	保育参観や懇談、家庭訪問では、子どもについてや保育について、家庭での在り方について共通理解を得るよう努めている。
3	指導計画は保育教育要領、保育教育課程、子どもの実態などを基に考えて作成している。	3	保護者からの様々な要望意見訴え相談等には、真摯な気持ちで臨み、ごまかすことなく事実を伝えたり、保護者からの話をよく聞くよう努めている。
4	指導計画に基づいて、どの子も主体的に関わりたくなるような環境構成をしている。	4	保護者からの様々な要望意見訴え相談等には、自己判断で受けたり、断ったり、無視したりせず、担任・主任・副園長・園長に報告連絡相談をしている。
5	教材研究を行い、年齢発達に適した教材及び方法を試し、取り入れている。	5	保護者の要望等を受け止めて実行する場合は、その事の教育的ねらいをはっきりさせて行っている。
6	遊びに必要な遊具や用具、素材等を年齢を考慮し、質や数量に配慮して用意している。	6	保護者からの要望やクレームの内容によっては教職員全体で検討し、共通理解の上で対処している。
7	子どもの興味関心に応じて、保育室の装飾や展示、遊び等の環境構成をしている。	7	保護者には常に謙虚な気持ちを持ち、丁寧な言葉で対応し、親しくなっても友達のような言葉遣いをしない。
8	子どもの発達や生活の動線を考えて環境構成をしている。	8	保護者からの依頼や伝言等はメモをとり、丁寧に対応している。
9	季節の変化に応じた環境構成をしている。	E 地域社会との関わり	
10	カリキュラムマネジメントのPDCAサイクルを知っている。	1	園に対する様々な問い合わせや質問には丁寧に対応し、返答したり、他の職員に引き継いだりしている。
11	PDCAサイクルを実施している。	2	来園者や地域の人に気持ちの良い対応をし、園児にもそれを指導している。
12	PDCAサイクルを他の職員と一緒にを行い、問題解決している。	3	園が取り組んでいる子育て支援事業の内容を理解し、説明できる。
B 保育のあり方と子どもへの対応		4	園は行事のアンケート等の評価や結果を適切に処理し、必要に応じて保護者に公表し、教育・保育の向上に努めているが、それを理解し行事内容向上に努めている。
1	登園時は視診や保護者からの聞き取りを行い、子どもの体調や気分に留意している。	5	園は小学校や発達支援センター等との情報交換をし、連携をはかっているが、それを理解し教育・保育内容に反映させている。
2	一人ひとりの子どもをよく観察し、言葉にならない思いやサインを受け止めている。	F 自己研鑽	
3	一人の子どもと関わりながらも、周囲にも目を配ることができている。	1	園内外問わず、研修会や会議では素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べるができる。
4	一人ひとりの子どもの発達の過程や課題について理解している。	2	専門書や専門雑誌を購入し勉強している。
5	子どもたちが今興味や関心を持っていることを知っている。	3	自分の保育に関して、自己課題を持って立案反省を行い、悩みについては他の職員に自分から相談することができる。
6	子どもたちが今どのように関り合っているかを理解している。	4	運動や音楽に関して研究し、継続的に保育に取り入れている。
7	子どもの気持ちに共感しながら、同じ目線で一緒に楽しく遊んだり活動したりしている。	5	伝承遊びや園に伝わる歌を学び、継続的に保育に取り入れている。
8	子ども一人ひとりの良さを見つけたり、ありのままの姿を認めるなど、肯定的に捉えている。	6	幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿を知っている。
9	健康で安全な生活の仕方や、善悪の判断が身に付くような指導をしている。	7	上記の10の姿は、0歳児からつながっていることを理解している。
10	子どもが遊びを深めていくためのヒントやアイデアをさりげなく提供している。	G その他	
11	子どもが自ら考えたり、工夫したりできるような見守り方をしている。	1	ONとOFFの切り替えができていますか？
12	遊びや生活の中で、異年齢での関りが持て、思いやりや憧れの気持ちを育めるようにしている。	2	リラックスできる場や時間、趣味などありますか？
13	子どもを褒めたり、励ましたり、めあて（目標）を持てるような言葉がけをしている。	仕事に関して今一番困っている、大変に思う、しんどい、辛いと感じることはなんですか？以下から1つ選んでください。	
14	禁止、命令、行動を急かしたり制限するなど、自信喪失に繋がる言葉や言動はしていない。	3	A人間関係/B保護者対応/C園児対応/Dピアノ苦手/E製作苦手/F持ち帰り仕事が多い/G年間の休みが少ない/H書類が多い/I休憩がとれない/J家庭との両立/Kその他 (Kその他を選んだ方は、よければ記述してください。)
15	子ども同士のトラブルに対し、適切に対応している。		
16	子どもたちが言葉を獲得するために、美しい言葉遣いや端的で分かりやすい言葉で話している。		
17	子どもの年齢や発達、性格、家庭環境、成育歴等を考慮して関っている。		
C 保育者としての資質・能力や良識・適正			
1	この仕事に誇りを持ち、常に前向きに努力している。		
2	園児の人権に十分配慮した言動をしている。		
3	より高度な専門知識や技能を身に付けるために、学習や研修をしている。		
4	仕事の手順をよく考え、能率よく行っている。		
5	保護者に対して、子どもの課題や改善を要する点を素直に話せる信頼関係を築いている。		
6	保育時間外でも保育者としての自覚を持った言動を心がけている。		
7	子どもや保護者との関りや対話には、公平さを欠かさないようにしている。		
8	園の消耗品や教材は節約して使い、後片付けをし、後で使う人が使いやすいようにしている。		
9	服装・髪型・髪色・化粧・身だしなみ等は、誰にでも清潔な印象を与えている。		
10	明るい笑顔で同僚や園児、保護者にあいさつをしている。		
11	落ちているごみをそのままにせず、拾っている。		
12	園内の共有の場所でも汚れていれば自発的に清掃している。		
13	教材や衛生用品の管理点検に気を配り、早めに補充をお願いしている。		
14	メ切のある仕事や書類の提出物の期限を厳守している。		
15	子どものことやクラスでの出来事等で必要なことは担任・主任・副園長・園長に報告連絡相談をしている。		
16	当番や役割による仕事は確実にやっている。		
17	職員間で先輩後輩に関わらず言葉遣いに気を付け、相手に不快な思いをさせていない。		
18	指示命令には責任をもって実行している。		
19	園に関わること（園児個人・保護者個人・家庭や教職員のプライバシー）に関して一切他へ漏らさない。		
20	子どものささやかな成長に気づき、理解し、それを喜ぶことができる。		
21	自然や様々なものに対する豊かな感性を持っている。		
22	子どもや教育に関する世間の情報を絶えずキャッチし、自然や社会の出来事にも関心を持っている。		